

## 久留米市長メッセージ<緊急事態宣言の解除を受けて>

市内の新規感染者数は、4月中旬からかつてないほど急増しましたが、6月以降落ち着きを取り戻し、現在では入院者数や重症者数も徐々に減少しています。そのような中、福岡県を対象に5月12日から発出された緊急事態宣言が、6月20日をもって解除されます。

この間、市民や事業者の皆さまには、感染防止対策に多大なるご理解とご協力をいただき、また、医療関係者をはじめとする関係の皆さまの御尽力に対し、改めまして、心から感謝申し上げます。

今回、緊急事態宣言は解除されますが、福岡県の病床使用率は政府指標のステージ3に該当し、また、デルタ株など新たな変異株による感染者も判明するなど、感染の再拡大を十分に警戒する必要があります。この状況を踏まえ、福岡県は、他地域と交流が盛んな福岡市、北九州市及び久留米市をまん延防止等重点措置区域とし、7月11日まで外出自粛や営業時間短縮等の要請を行いました。

度重なる要請で厳しい状況が続くこととなりますが、引き続き市民の皆さま、事業者の皆さまにはご協力をお願いします。

一方、久留米市における、新型コロナウイルス感染症拡大防止の鍵であるワクチン接種の状況は、6月16日時点の65歳以上高齢者の接種率は約65.01%と、人口10万人以上の市において、全国トップクラスの進捗となっています。

今後は64歳以下の世代の皆さまに速やかに接種券をお届けするとともに、高齢者事業所や障害者事業所等の従事者、教員や保育士などエッセンシャルワーカーへの優先接種も予定しており、1日も早く、希望する全ての市民の皆さまが円滑に接種を行えるよう、努力してまいります。

これから出水期を迎え、避難所においても、三密の回避など、感染拡大を防ぐための対策をしっかりと講じていく必要があります。市民、事業者の皆さまには、再びリバウンドを起こさないよう、改めてマスクの着用や手洗いなどの基本的な感染防止対策を徹底するなど、自覚と責任ある行動をお願いいたします。

令和3年6月18日

久留米市長

大久保 勉